



## 平成30年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月31日

上場会社名 菱洋エレクトロ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8068 URL <http://www.ryoyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大内 孝好

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長 (氏名) 脇 清 TEL 03-3543-7710

四半期報告書提出予定日 平成29年9月8日 配当支払開始予定日 平成29年10月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年1月期第2四半期の連結業績(平成29年2月1日～平成29年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第2四半期	46,049	6.6	689	12.5	824	2.9	575	1.9
29年1月期第2四半期	49,291	16.0	787	29.6	801	44.2	564	48.6

(注) 包括利益 30年1月期第2四半期 433百万円 ( %) 29年1月期第2四半期 147百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第2四半期	23.47	23.37
29年1月期第2四半期	23.00	22.88

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年1月期第2四半期	77,316	64,802	83.7	2,641.81
29年1月期	77,973	64,859	83.1	2,644.10

(参考) 自己資本 30年1月期第2四半期 64,742百万円 29年1月期 64,799百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期		20.00		20.00	40.00
30年1月期		30.00			
30年1月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年1月期の連結業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	1.6	1,550	12.9	1,650	6.8	1,100	33.7	44.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年1月期2Q	26,800,000 株	29年1月期	27,600,000 株
期末自己株式数	30年1月期2Q	2,293,244 株	29年1月期	3,092,672 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年1月期2Q	24,507,055 株	29年1月期2Q	24,544,837 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	10
(1) 品目別売上高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年2月1日～平成29年7月31日）における国内経済は、依然として不安定な国外情勢に先行き不透明感を残すものの、足元では企業収益や雇用環境の改善を背景に、企業の設備投資や個人消費にも持ち直しの動きが見られ、引き続き緩やかな回復基調となりました。

当社グループの属するエレクトロニクス業界は、産業分野の回復を中心に幅広い分野で半導体需要が旺盛となったほか、企業のIoT（Internet of Things）分野への投資は引き続き活発に推移しており、AIやDeep Learningの実用化に向けた期待感も日増しに高まりつつあります。

このような環境の中で当社グループは、成長戦略に位置付けるIoT分野に向けた取り組みを一層強化しているものの、半導体メーカーの政策変更や主要顧客における生産調整の影響を受けた半導体/デバイスが大きく減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は460億49百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は6億89百万円（前年同期比12.5%減）、経常利益は8億24百万円（前年同期比2.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億75百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

売上高の品目別の概況は次のとおりです。

#### （半導体/デバイス）

売上高は244億48百万円で、前年同期より50億22百万円（17.0%）減少しました。

これは、主に産業用途向け半導体が減少したためです。

#### （ICT/ソリューション）

売上高は216億1百万円で、前年同期より17億81百万円（9.0%）増加しました。

これは、主にパソコン用ソフトウェアやグラフィックボード製品が増加したためです。

セグメントの業績概況は次のとおりです。

#### ① 日本

産業用途やパソコン向け半導体が減少したことにより、外部顧客への売上高は381億17百万円で、前年同期より18億29百万円（4.6%）減少し、セグメント利益は6億37百万円で、前年同期より81百万円（11.4%）減少しました。

#### ② アジア

テレビやアミューズメント機器向け半導体が減少したことにより、外部顧客への売上高は79億32百万円で、前年同期より14億11百万円（15.1%）減少し、セグメント利益は40百万円で、前年同期より9百万円（19.5%）減少しました。

なお、連結損益計算書上の営業利益の金額は、上記の各セグメント利益に調整を行い算出しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は773億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億57百万円減少しました。これは、主に受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は125億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億99百万円減少しました。これは、主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は648億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少しました。これは、主に為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

② キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、運転資金の減少等により221億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億95百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が8億36百万円となったことに加え、売上債権が46億61百万円減少したこと等による運転資金の減少等により、39億65百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ6億85百万円減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入10億円がありましたが、投資有価証券の取得による支出21億90百万円等により5億42百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ3億52百万円減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により4億90百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ78百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、平成29年3月9日に公表した数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,517	22,726
受取手形及び売掛金	29,291	24,471
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	10,582	11,245
繰延税金資産	291	296
その他	1,247	1,271
貸倒引当金	△5	△2
流動資産合計	61,925	61,009
固定資産		
有形固定資産	161	161
無形固定資産	630	537
投資その他の資産		
投資有価証券	13,368	13,729
退職給付に係る資産	1,216	1,272
その他	716	650
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	15,256	15,608
固定資産合計	16,048	16,306
資産合計	77,973	77,316
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,633	9,026
未払法人税等	205	314
未払消費税等	25	39
賞与引当金	186	199
その他	910	708
流動負債合計	10,961	10,287
固定負債		
退職給付に係る負債	778	789
繰延税金負債	1,162	1,230
その他	211	207
固定負債合計	2,153	2,227
負債合計	13,114	12,514

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,672	13,672
資本剰余金	13,336	13,336
利益剰余金	38,244	37,384
自己株式	△3,649	△2,706
株主資本合計	61,602	61,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,446	2,546
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	528	286
退職給付に係る調整累計額	222	222
その他の包括利益累計額合計	3,197	3,055
新株予約権	59	59
純資産合計	64,859	64,802
負債純資産合計	77,973	77,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
売上高	49,291	46,049
売上原価	45,180	41,865
売上総利益	4,110	4,184
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△0	△2
給料及び賞与	1,320	1,328
賞与引当金繰入額	125	199
退職給付費用	68	59
賃借料	165	171
減価償却費	122	118
その他	1,521	1,619
販売費及び一般管理費合計	3,322	3,494
営業利益	787	689
営業外収益		
受取利息	27	29
受取配当金	82	61
仕入割引	5	3
投資事業組合運用益	—	63
その他	18	12
営業外収益合計	134	171
営業外費用		
売上割引	2	2
有価証券償還損	50	—
投資有価証券評価損	18	—
為替差損	40	27
支払手数料	6	2
固定資産廃棄損	0	0
その他	3	3
営業外費用合計	120	36
経常利益	801	824
特別利益		
投資有価証券売却益	105	42
その他	20	—
特別利益合計	126	42
特別損失		
投資有価証券売却損	100	30
特別損失合計	100	30
税金等調整前四半期純利益	826	836
法人税、住民税及び事業税	240	243
法人税等調整額	21	18
法人税等合計	262	261
四半期純利益	564	575
親会社株主に帰属する四半期純利益	564	575



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年2月1日 至 平成29年7月31日)
四半期純利益	564	575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256	100
繰延ヘッジ損益	△9	△0
為替換算調整勘定	△961	△241
退職給付に係る調整額	3	0
その他の包括利益合計	△711	△141
四半期包括利益	△147	433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△147	433
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年2月1日 至 平成29年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	826	836
減価償却費	122	119
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
投資事業組合運用損益 (△は益)	2	△63
為替差損益 (△は益)	△47	△9
引当金の増減額 (△は減少)	△5	18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	5
受取利息及び受取配当金	△110	△91
有価証券償還損益 (△は益)	50	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	18	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	2,878	4,661
たな卸資産の増減額 (△は増加)	938	△707
仕入債務の増減額 (△は減少)	367	△490
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1	14
その他	△343	△271
小計	4,693	4,011
利息及び配当金の受取額	123	95
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△166	△140
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,650</b>	<b>3,965</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△596	△666
定期預金の払戻による収入	—	242
有価証券の償還による収入	1,493	1,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△165	△25
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△2,521	△2,190
投資有価証券の売却による収入	1,555	918
関係会社貸付けによる支出	△7	△26
関係会社貸付回収による収入	—	99
投資事業組合からの分配による収入	47	126
保険積立金の積立による支出	—	△18
その他	3	△0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△190</b>	<b>△542</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△368	△489
自己株式の取得による支出	△200	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△569</b>	<b>△490</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△436	△136
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,454	2,795
現金及び現金同等物の期首残高	13,535	19,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,990	22,138

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成29年3月9日開催の取締役会決議により、会社法第178条の規定に基づき、平成29年3月17日付で自己株式800,000株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ9億44百万円減少しております。

(セグメント情報等)

① 前第2四半期連結累計期間(自平成28年2月1日至平成28年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,947	9,343	49,291	—	49,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,398	187	4,585	△4,585	—
計	44,345	9,531	53,876	△4,585	49,291
セグメント利益	719	49	769	18	787

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第2四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,117	7,932	46,049	—	46,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,985	243	4,229	△4,229	—
計	42,103	8,176	50,279	△4,229	46,049
セグメント利益	637	40	678	11	689

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 品目別売上高

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)		増減額 (百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
半導体/デバイス	29,470	59.8	24,448	53.1	△5,022
I C T/ソリューション	19,820	40.2	21,601	46.9	1,781
合 計	49,291	100.0	46,049	100.0	△3,241